

神中しーぶん

平成27年
4月30日

神原中
不定期04号

部活動結成会!!

—各顧問・コーチの紹介・委任状—

去る二十四日(金)午後五時半より、平成二十七年の部活動結成会が行われました。

校歌斉唱や校長先生のあいさつ、部活動主任の足立忠敬先生による「部活動の活動方針」、会計の與儀愛先生による「会計報告」が行われました。

さらに、各部活動顧問・コーチ紹介及び委嘱状交付へと続き、全体会終了後は各部活動ごとに保護者会を行い、自己紹介の後、顧問の活動方針や入部手続き、役員選出等を行いました。

その後、各部の代表者による「部活動育成会」があり、部活がんばろう会等についての話し合いも行われました。全体会の中で、校長先生からは「生徒の皆さんの返礼が素晴らしい」との言葉がありました。さらに、「チームの団結や勝利したときの喜び、まわりの愛情をしつかりと受け止め、感謝する心を忘れないで欲しい」とのことでした。

部活動主任からは、活動を通して、「心技体」を高めたい。勝利至上主義ではなく、「文武両道」を目指したい。小中で取り組んでいる「みそあじ」の徹底も図りたい。最終的には、部活動を活性化して行きたいとのことでした。



選手代表決意!!

☆男子キャプテン(古波蔵優貴)
最初は殆どの男子が、ハーリーへの関心が薄く、メンバーも集まらない状況でした。また、練習中にも私語や水かけなど始まりました。しかし、一人一人が自覚をもち練習に取り組みました。増え続けている人数の定員ギリギリまで集まりました。

那覇ハーリー本番では、優勝するこは勿論ですが、全力的に出し切って、悔いの残らないように一杯頑張りたいと思います。応援よろしくお願ひします。

☆女子キャプテン(西村優紀)
私たちは、女子監督の佐作先生、コーチの大川先生・上原さんに指導してもらい日々練習にはげんできました。練習を始めたころは、こぎかたも分からず、みんなのカイも全くそろいませんでした。でも、(後に続く)

ハーリー激励会!

去る二十七日(火)生徒会朝会にて、那覇ハーリー選手激励会が行われました。音楽と手拍子のなかでの選手入場が始まり、校歌斉唱、男女キャプテンの決意表明、生徒代表による激励、名嘉ゆり子校長先生による激励のあいさつへと続きました。

校長先生のあいさつを紹介します。始業式にうりずんという季節のあいさつをしました。今季節は若夏へと変わってきました。まだまだ本格的ではないけれど次第次第に夏の暑さが感じられる季節ということでしょうか。そのような若夏という季節の到来と同時にハーリーがやってきます。

毎年三年生は、このハーリーで最上級生としての力強さを見せてくれます。三年生の皆さんはハーリーに向けて朝も放課後も一生懸命練習してきました。大変よく頑張る頼もしい三年生です。

ハーリーは約六百年前に中国から伝わったもので、琉球王朝時代には、爬竜船(はりゅうせん)を漕ぎ競い合うこと(はりゅうせん)が平和で民が安らかに暮らせることを願う行事だったそうです。

部活コーチ!!

- ☆男子バスケットボール部 比嘉良成
- ☆女子バスケットボール部 我謝清
- ☆卓球部 朝光 高山 篤
- ☆バドミントン部 仲地由美子 座間味毅

子ども達の健全な成長のため、ご協力をお願いします。



このハーリーは、沖縄だけでなく、中国の影響を受けたシンガポールやベトナムなどのアジアの国々でもドラゴンボートレースという形で競漕が行われています。私は十七年前にシンガポールの日本人学校で働いていたことがありますが、シンガポールリバーでドラゴンボートレースをみて沖繩のハーリー競漕と殆ど同じだったのを見て、なんじゃこりゃ、ハーリーじゃないかと驚いたものです。

那覇ハーリーは、一九七五年に復活して、今年は何年ぶりになります。沖繩のハーリー行事の中では最大規模だそうです。ハーリーに使われる三隻の爬竜船の色は、濃緑色が「那覇」、黄色が「久米」、黒色が「泊」とされており、この三隻で競漕が行われます。当時は「那覇」は日本、「久米」は中国、「泊」は沖繩を象徴すると言われていたそうです。そしてかつての那覇ハーリーに選ばれた人は家をあげての名誉なこととなり、選ばれた人の家庭では、祝い饅頭が配られることもあったそうです。

神原中の生徒全員の安全と健康と平和を祈念しながら一生懸命漕いでください。心一つにして精一杯漕いで、神中パワーと団結の力を発揮して下さい。その思いが、学校の安泰につながります。